

## 山梨県立美術館協議会資料

令和2年2月28日(金)

山梨県立美術館

## 目次

ページ

<u>山梨県立美術館協議会名簿</u>	1
<u>山梨県附属機関の設置に関する条例 他</u>	2
<u>山梨県立美術館組織図</u>	4
<u>指定管理者組織図</u>	5
<u>山梨県立美術館活動報告(概要)</u>	6
<u>観覧者数の推移</u>	7
<u>施設利用者の状況</u>	8
<u>令和元～2年度 特別展等一覧</u>	9
<u>教育課程の実施状況について</u>	10
<u>指定管理者活動報告</u>	14

山梨県立美術館協議会委員名簿

任期:平成30年10月1日～令和2年9月30日

区分	氏名	役職	出身分野(勤務先等)
委嘱	ほさか かずひと 保坂 一仁	山梨県市町村教育委員会連合会代表(副会長)	社会教育関係 (甲州市教育長)
"	しおじま あけみ 塩島 明美	山梨県社会教育委員連絡協議会代表	社会教育関係 (市川三郷町社会教育委員)
"	むこうやま ふじお 向山 富士雄	南アルプス市立美術館館長	学識経験者 (南アルプス市立美術館館長)
"	つるた いちよう 鶴田 一香	山梨県文化協会連合会代表	学識経験者 (山梨県文化協会連合会会長)
"	ふるや ともこ 古屋 知子	元山梨県教育委員会教育委員長	学識経験者 (元山梨県教育委員会教育委員長)
"	ほさか ひろし 保坂 博司	山梨美術協会代表	学識経験者 (山梨美術協会代表)
"	たかの まござえもん 高野 孫左エ門	株式会社吉字屋本店代表取締役社長	学識経験者 (株式会社吉字屋本店代表取締役社長)
"	のぐち えいち 野口 英一	報道関係	学識経験者 (山梨放送・山梨日日新聞社社長)
"	はらだ ゆきひこ 原田 由起彦	報道関係	学識経験者 (テレビ山梨代表取締役社長)
"	つじむら かずと 辻村 和人	報道関係	学識経験者 (NHK甲府放送局局長)
"	しまづ くみこ 島津 久美子	山梨県立美術館協力会代表	学識経験者 (山梨県立美術館協力会副会長)
"	おざわ ともこ 小澤 智子	公募委員	家庭教育関係者
"	かわぐち そのこ 川口 園子	公募委員	家庭教育関係者
任命	のなか るみこ 野中 るみ子	山梨県公立小中学校長会代表	学校教育関係 (甲府市立石田小学校校長)
"	てしま としき 手島 俊樹	山梨県高等学校長協会代表	学校教育関係 (県立甲府西高等学校校長)

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 知事の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

（略）

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二及び別表第三の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、知事（教育委員会の附属機関にあっては、教育委員会。以下同じ。）が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。（会長等）

第五条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第八条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

二 教育委員会の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立美術館協議会	博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第三項の規定による山梨県立美術館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以上	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋） 山梨県教育委員会規則第十一号  
（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠委員の任期）

第三条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県高等学校審議会	過半数
山梨県へき地等教育振興審議会	過半数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数
山梨県地方産業教育審議会	過半数
山梨県スポーツ推進審議会	過半数

（意見の陳述）

第九条 関係職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

（定例会及び臨時会）

第十二条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	開催回数
山梨県立美術館協議会	年一回
山梨県考古博物館協議会	年二回
山梨県文学館協議会	年二回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

（庶務）

第十三条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

附属機関	所属
山梨県図書館協議会	図書館
山梨県高等学校入学者選抜制度審議会	高校改革・特別支援教育課
山梨県へき地等教育振興審議会	義務教育課
山梨県特別支援教育振興審議会	高校改革・特別支援教育課
山梨県立美術館協議会	美術館
山梨県考古博物館協議会	考古博物館
山梨県文学館協議会	文学館
山梨県地方産業教育審議会	高校教育課
山梨県スポーツ推進審議会	スポーツ健康課

（委任）

第十四条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

（博物館協議会）

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

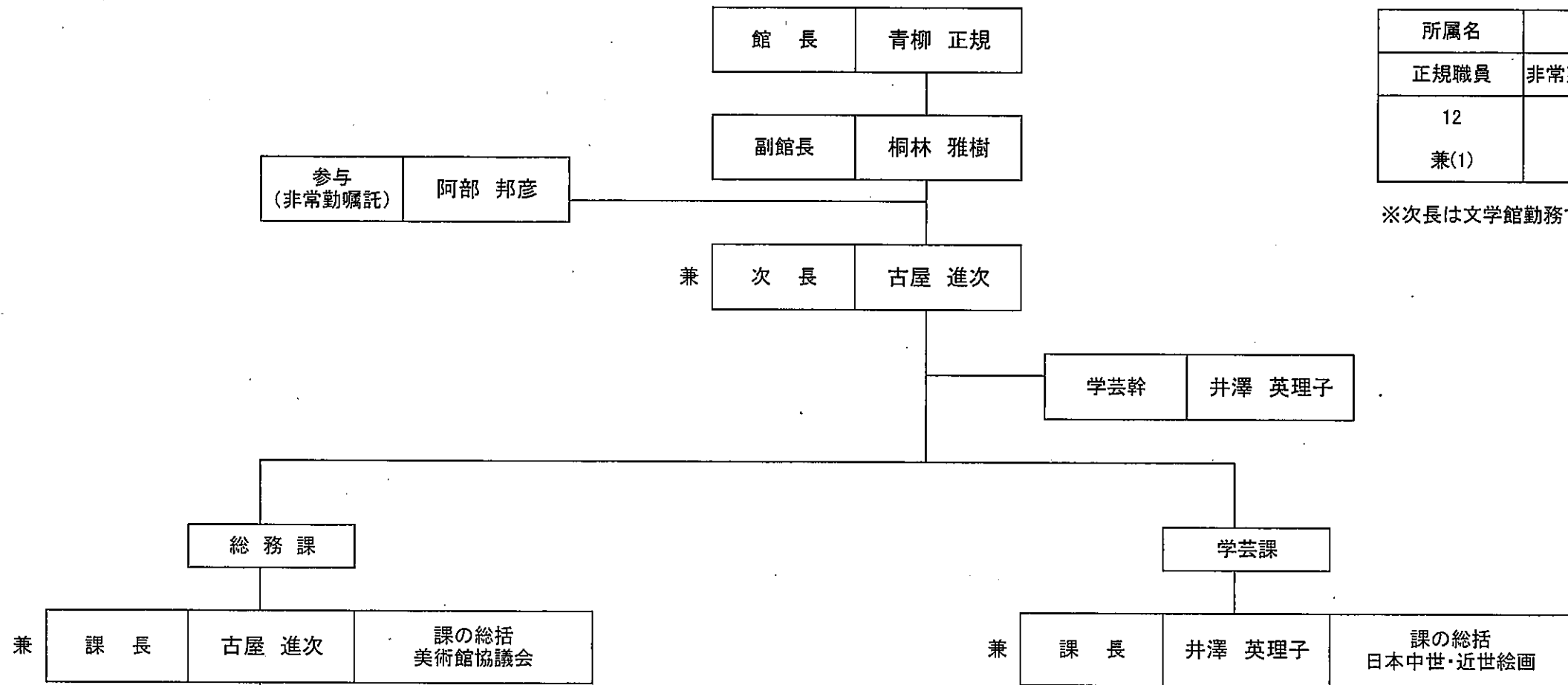
第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

# 美術館組織図

令和元年10月1日現在

所属名	県立美術館		
正規職員	非常勤嘱託職員	臨時職員	計
12 兼(1)	7		19 兼(1)

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



兼	課長	古屋 進次	課の総括 美術館協議会
---	----	-------	----------------

兼	課長	井澤 英理子	課の総括 日本中世・近世絵画
---	----	--------	-------------------

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主査	進藤 真行	担当の総括 予算管理
主事	高山 慎之介	会計・経理 旅費・福利
非常勤 嘱託	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会

## 学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	平林 彰	担当の総括 日本近世・近代絵画
学芸員	太田 智子	西洋近代絵画、現代美術
学芸員	小坂井 玲	西洋近代絵画
学芸員	森川 もなみ	西洋・日本近代美術
学芸員	下東 佳那	日本現代美術・現代洋画
非常勤 嘱託	雨宮 千鶴	学芸補助
非常勤 嘱託	伊藤 茜	学芸事務
非常勤 嘱託	外園 椋	学芸事務

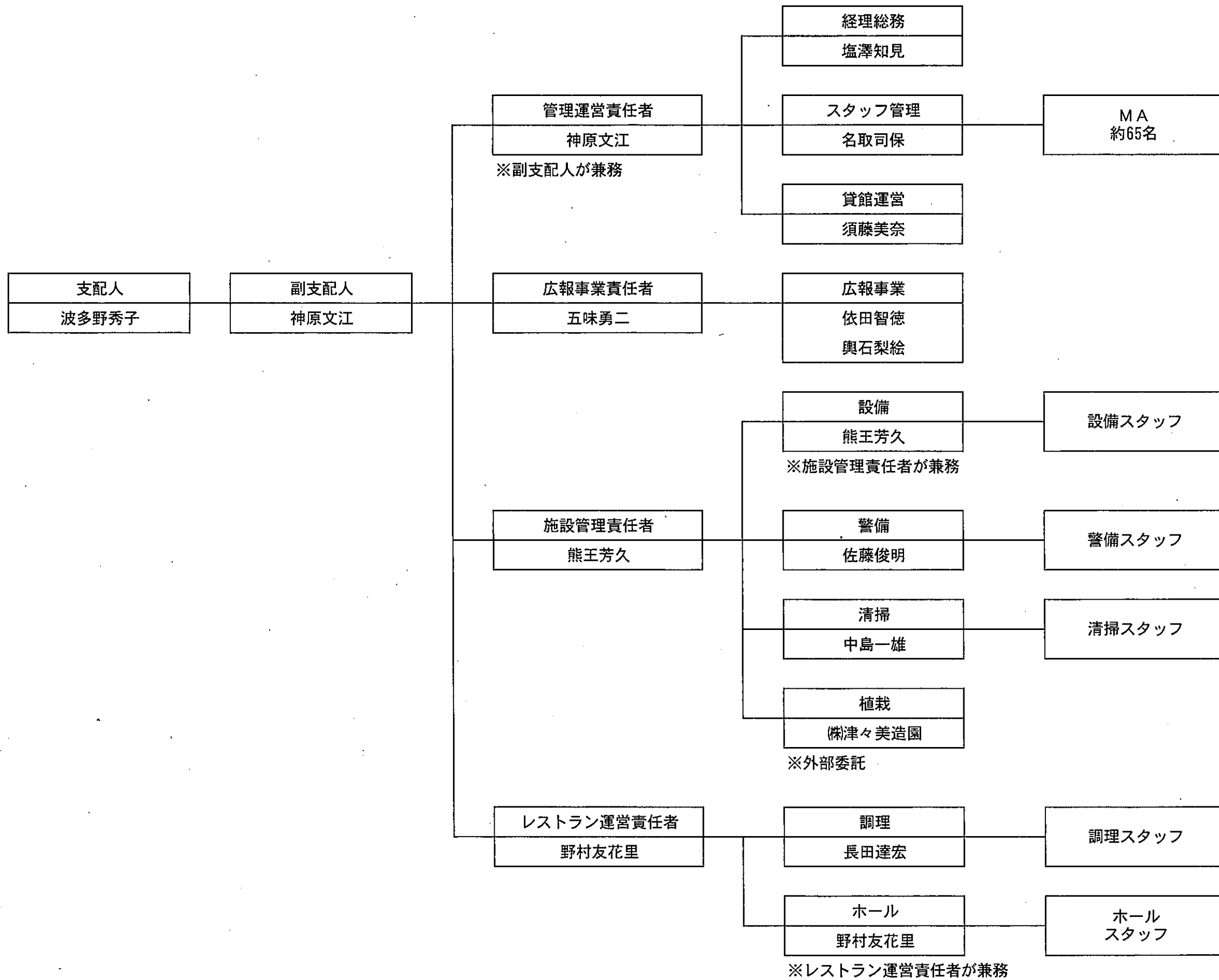
## 普及担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	高野 早代子	担当の総括 県関係作家、保存
主幹・ 教育主事	小俣 直喜	美術館教育
主査・ 教育主事	瀧澤 智子	美術館教育
非常勤 嘱託	藤木 成弘	協力員指導

## 美術館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	小杉 佳子	協力会経理
協力会 職員	矢崎 理江	協力会経理

※次長は文学館勤務で、美術館と兼務



# 山梨県立美術館活動報告（概要） 令和元年度

## 美術館活動における長期目標

○県民の美術に関する知識・教養の向上を図り、県民文化の発展に寄与するため以下のような長期目標を掲げる。

【展示／見る】幅広いジャンルでの質の高い特別展示とともに「西洋美術」「山梨ゆかりの美術」「日本の近現代美術」などのコレクションを使った常設企画展示の一層の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】生涯学習の進展や教育課程における総合学習の充実化にともない、より多様な学習機会の提供を行う。

【付加価値・魅力／憩う】本来の美術館機能に加え、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行う。

## 令和元年度後期の活動の状況

【展示／見る】多様な来館者ニーズに応え、幅広いジャンルの特別展や魅力あるコレクション展を開催する。

〈コレクション展〉

・魅力的なコレクション展をめざし、テーマ性を打ち出した企画展示を年4回行う。

秋季「働く人々」「秋の情景」「三人の日本画家」「宮沢賢治・深沢幸雄・清原啓子」

冬季「冬から春への季節の表現」「青の世界」「平成30年度修理報告」「ミレーと田園風景へのオマージュ」

春季「春から初夏へ」「山へ：山梨県立美術館コレクションに見る山々」「特集：佐藤正明」(予定)

・「ミレー館」の開設以降、集客を維持するための魅力を改めて県外にPRするための積極的な広報活動の実施

冬季特別企画「藤田嗣治：『黙示録』三連作の謎」12月10日(火)～令和2年3月8日(日)

春季特別企画「シャガール：《花束》に込めた想い」令和2年3月17日(火)～6月7日(日)

※「ジャン＝フランソワ・ミレー：モダン・アートの種をまく人」展へ、ミレー《種をまく人》をゴッホ美術館(オランダ)【貸出期間：令和元年9月25日～令和2年1月26日】、ミレー《落ち穂拾い、夏》をセントルイス美術館(アメリカ)【貸出期間：令和2年1月28日～5月下旬】へ出品。

〈特別展〉 ※別紙「R1(2019)年度 特別展概要」参照

・萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく 9月7日(土)～11月4日(月・振休)

・現代日本の工芸 国際交流基金寄託作品と山梨の工芸 11月16日(土)～令和2年1月13日(月・祝)

〈コレクション企画展〉

・野口コレクションの精華 令和2年2月8日(土)～3月8日(日)

〈キュレーターズ・アイ〉

・長谷川 創 展 11月6日(水)～令和2年1月6日(日)

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

県民のニーズに対応した美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや高齢者、障がい者への実技講座やレクチャーなどの実施。

学校と連携して、児童生徒への鑑賞・実技指導を実施。また、学校教師への鑑賞教育・実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深めた。

美術館から職員が外に出て、様々な会場でのワークショップや授業、鑑賞研修会などを実施。

〈活動内容〉

・キッズプログラム(小中高生対応) ・校外学習対応として展示室での鑑賞、実技体験及び職場体験活動

・学校への出前授業 ・アートボックスの貸し出し・アートカードのレクチャー ・造形広場 ・創作教室

・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座

・ことぶき勸学院への協力(総務課対応) ・ギャラリー・トーク ・映画会

・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む) ・県民ギャラリー利用者の創作活動PR支援

・認知症ケア美術鑑賞ワークショップ ・新田小学校6年生によるギャラリー・トーク

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】〈魅力あふれる美術館をめざして〉

〈質の高いサービス提供〉

・美術館ボランティアのスキルアップをめざして研修・学習会を実施。

〈様々な付加価値の創造〉

・地元音楽家・団体や学校現場との協働によるロビーコンサートを毎週日曜日に開催。(SPS)

・レストランサービスの向上をめざして運営企業と情報交換・協議。

・ミュージアム甲斐 in 券並びに定期観覧券所持者への割引サービス。売店、レストラン。

・首都圏からの来館者増を目的に、中央紙への広告の掲載。(SPS)

・芸術文化のまちづくりでNPOを支援＝アートの街貢川フェスティバル後援

〈県・指定管理者・県民との円滑なリレーションシップ〉

・本美術館の特色・魅力を十分に伝えられる情報発信・積極的な広報とパブリシティの実施。

・展覧会事業を報道機関と共催、県民への情報提供の機会を大幅に増やすことができた。

・新たな集客に向け、アンケートによる調査などを積極的に取り入れ、県民ニーズの把握に努める。

〈広報展開〉

・美術館のイメージアップとなり、周知や来館を促すような、中長期的視点から「種をまく 世界がひらく」をキャッチコピーとして、新たな《種をまく人》のデザインとともに広報展開。

## 中期目標と令和2年度の具体的活動予定

1, 山梨の美術を再検証するとともに、郷土関係作家の新たな展覧会を企画立案する。

2, 様々なジャンルや時代・国の美術を紹介する特別展をバランス良く展開する。

3, アンケート調査などを取り入れ、県民ニーズ等の把握に積極的に取り組み集客力の向上を図る。

4, 広報活動の強化。

【展示／見る】

・開催趣旨と目標(集客、研究、人気もの etc)を明確にした企画展の開催と、リピーターとして何度も美術館に行きたくなるような魅力あるコレクション展示の創出を図る。

〈コレクション展〉

従来の常設展のイメージを一新した展示空間の創作に心がけ、テーマ展示や企画コーナーを設けるなど、新たな魅力ある展示を行う。

・ミレー館・テーマ展示室・萩原記念室を使った年4回の展示替えを実施。

・テーマ展示や新設コーナーを設け、特別展のようなタイトルを付けるなど、興味を持って鑑賞してもらえるような工夫や配慮し、積極的に広報する。(特にテーマ展示室)

・東京オリンピック・パラリンピック記念 6館連携事業「北斎・広重そして萩原英雄 富嶽三十六景展」(仮称)の開催：夏季(令和2年6月16日～9月22日)

〈特別展〉 ※別紙「R2(2020)年度 特別展概要」参照

・英国王室が愛した花々 キューガーデンとボタニカル・アート(仮称)4月25日(土)～6月21日(日)

・蜷川実花展一虚構と現実の間にー 7月8日(水)～8月30日(日)

・クールベと海(仮称) 9月11日(金)～11月3日(火・祝)

・栗田宏一・須田悦宏展 11月14日(土)～令和3年1月31日(日)

【教育普及／学ぶ】アートレクチャーや講座の充実を図り、より幅広い県民の参加を促進。

・アート・カードを導入した、新たな作品鑑賞の「見るヒント」「感じるヒント」の一助になる実践を紹介。

・県民ニーズに応じた美術館教育プログラムの作成・提供に務め、世代別・習熟度別プログラムや障がい者への実技講座なども実施していく。

・教育現場と連携して、年齢ごとの学びの場として会場を提供し、キャリア教育等にも活かしていく。

・学校と連携して、児童生徒への実技指導を実施。また、学校の教師への実技指導・美術教育に関する積極的な意見交換も行い連携を深める。

〈活動内容〉

「博学連携を中心とした学校・社会教育施設との連携強化」

・キッズプログラム(小中高生対応) ・映画会 ・職場体験学習 ・校外学習への対応(オリエンテーション、

展示室での鑑賞、実技体験) ・ギャラリートーク ・学校への出前授業 ・アートボックス貸出

・施設の貸出 ・創作教室 ・造形広場 ・みんなで作る美術館(現代美術作家との協働)

・教師のための鑑賞研究会 ・大人のための美術講座 ・美術体験・実技講座(初心者・障がい者含む)

・ギャラリー・トーク ・アート・カードのレクチャー及び貸出

「地域との連携強化」

・美術館周辺校(新田小学校)との6カ年を通じた継続的な連携。

【付加価値・魅力／憩う・広報活動】美術館への好感度向上をめざして、さまざまな取り組みを実施。

・質の高いサービスを提供するため、研修の強化などを行い、引き続き美術館ボランティア(案内、解説、情報 etc.)のスキルアップに務める。

・様々な付加価値の創造に継続して取り組む。

・地元音楽家・団体、学校のコーラス部との協働による週末のロビーコンサートや小イベントを継続して実施。

・ミュージアムショップでの楽しい買い物に向けて、魅力ある新商品の開発等を実施。

・県民との円滑なリレーションシップを目指して、本美術館の特色・魅力をしっかりと情報発信。

・やまなしの文化情報ネットワークやノウハウを最大限活用した積極的な広報とパブリシティの実施。

▶▶▶▶▶ これらの取り組みを着実に進めて、より多くの県民の来館に結びつける。

山梨県立美術館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	特別展・新収蔵品展等	観覧者数合計
S53	118	160,594	91,501	252,095
54	295	316,325	152,418	468,743
55	298	410,214	110,951	521,165
56	297	421,759	124,772	546,531
57	296	401,864	107,843	509,707
58	295	391,408	118,381	509,789
59	298	416,423	87,280	503,703
60	299	396,782	193,786	590,568
61	302	443,656	116,263	559,919
62	298	454,876	78,845	533,721
63	296	471,011	109,642	580,653
H1	304	408,088	71,341	479,429
2	293	409,354	69,818	479,172
3	300	379,707	162,035	541,742
4	290	359,582	155,457	515,039
5	287	320,179	97,028	417,207
6	278	270,067	79,467	349,534
7	300	262,845	71,246	334,091
8	289	276,556	86,910	363,466
9	293	202,358	53,780	256,138
10	281	266,846	167,521	434,367
11	298	176,533	89,962	266,495
12	300	149,708	84,963	234,671
13	301	122,857	65,484	188,341
14	301	166,783	131,560	298,343
15	288	90,783	43,766	134,549
16	298	115,874	83,408	199,282
17	301	100,777	50,203	150,980
18	309	96,898	35,385	132,283
19	309	99,823	64,421	164,244
20	307	112,410	85,669	198,079
21	309	117,250	57,803	175,053
22	310	98,986	61,123	160,109
23	310	103,181	84,090	187,271
24	311	120,650	67,736	188,386
25	306	97,569	59,204	156,773
26	308	137,316	112,138	249,454
27	307	97,675	103,380	201,055
28	306	80,474	68,718	149,192
29	305	76,898	67,127	144,025
30	303	90,090	106,226	196,316
計	12,094	9,693,029	3,828,651	13,521,680

令和元年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	8,375
5	27	11,441
6	26	7,243
7	26	6,788
8	28	10,212
9	25	6,606
10	26	6,354
11	26	8,969
12	21	3,196
1	26	4,174
2		
3		
計	257	73,358

前年同期比 89.0%

特別展・新収蔵品展等 (R2年1月まで)

展覧会名	開催日数	観覧者数
デザインあ展	51	81,566
黄昏の絵画たち	57	16,904
萩尾望都SF原画展	50	10,033
現代日本の工芸展	45	9,203
コレクション企画展		
	203	117,706

平成30年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数
4	26	6,541
5	27	8,156
6	26	6,781
7	26	8,471
8	28	13,281
9	26	8,572
10	26	9,050
11	26	12,965
12	21	4,855
1	26	3,796
2	24	3,361
3	21	4,261
年度計	303	90,090

H31.1月まで計	258	82,468
-----------	-----	--------

特別展・新収蔵品展等 (H30年度)

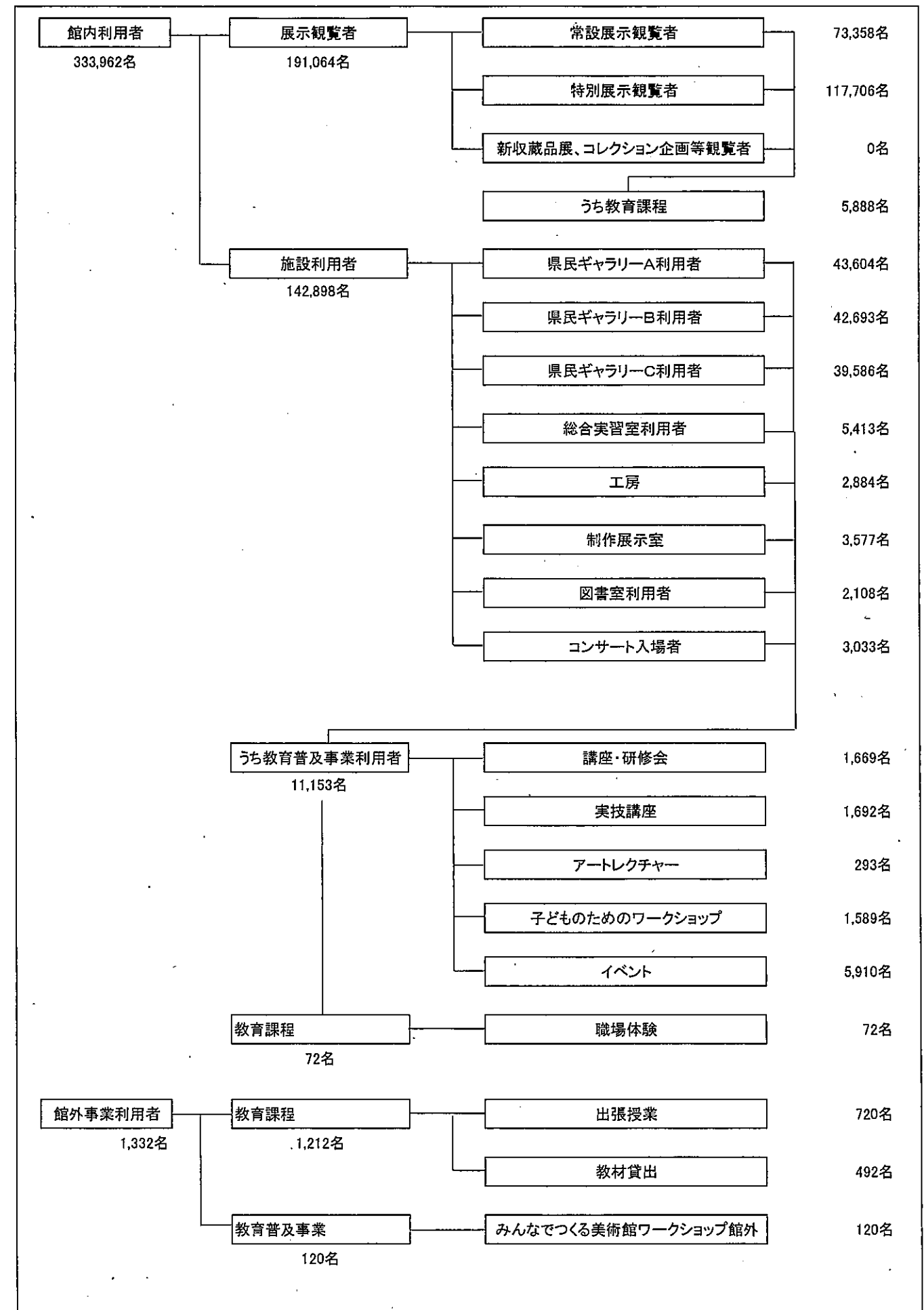
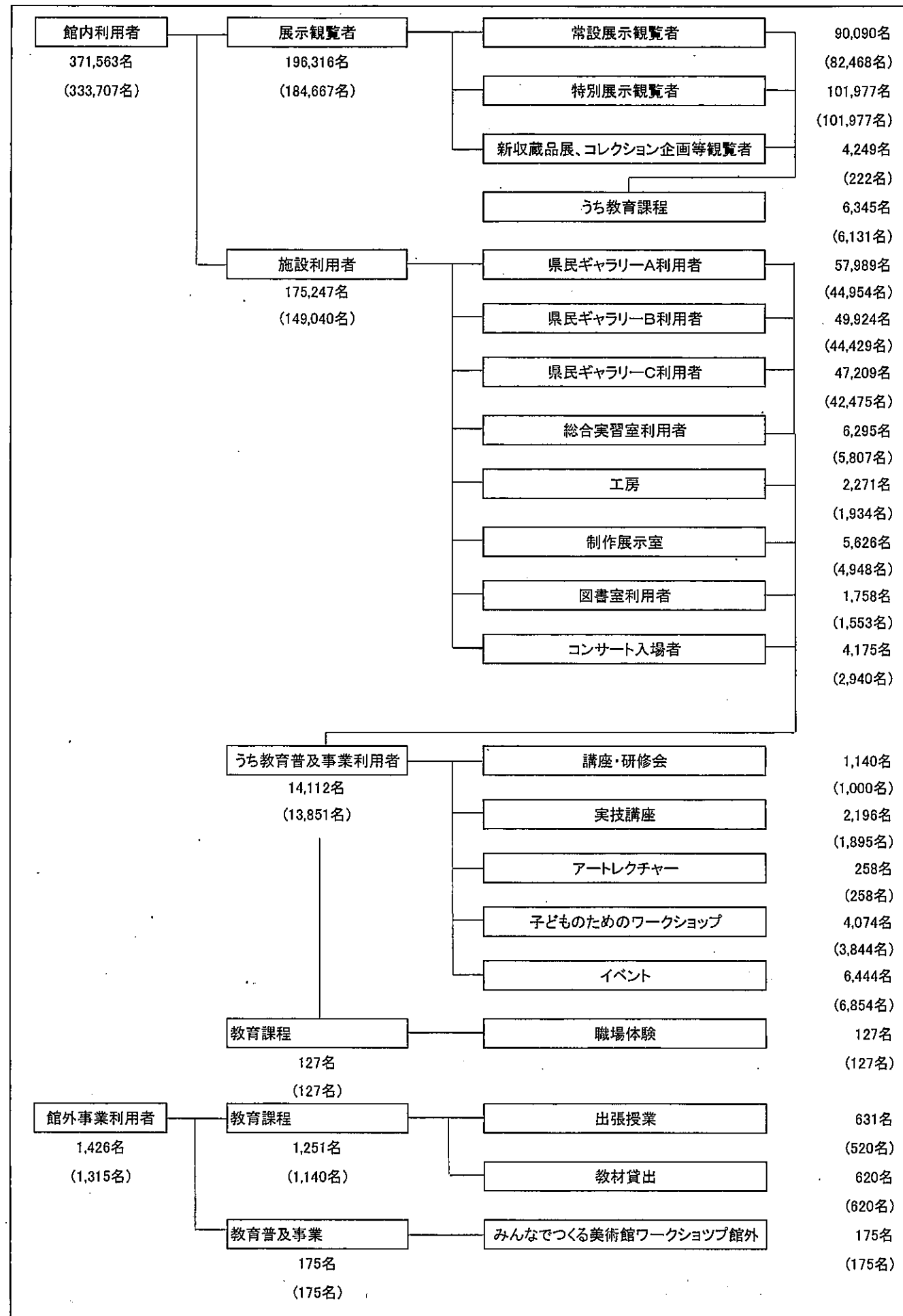
展覧会名	開催日数	観覧者数
佐野洋子展	51	18,849
魔法の美術館	51	57,860
深沢幸雄展	33	5,898
ドービーニー展	50	19,370
H30新収蔵品展	26	4,249
	211	106,226



美術館における「利用者」の状況

平成30年度実績。( )は1月末現在

令和2年1月末現在



○美術館の利用者とは、美術館の施設、提供するサービスを利用した者および美術館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

H31/R1 (2019) 年度

R2 (2020) 年度

<p>デザイン あ 展 in YAMANASHI</p>	<p>黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景 (仮称)</p>	<p>萩尾望都 SF 原画展</p>	<p>現代日本の工芸 国際交流基金寄託作品と山梨の工芸</p>	<p>キューガーデン 英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート</p>	<p>蜷川実花展 一虚構と現実の間に</p>	<p>クールベと海 (仮称)</p>	<p>栗田宏一・須田悦宏展</p>
<p>2019年4月13日 (土) ～6月9日 (日)</p>	<p>6月22日 (土) ～8月25日 (日)</p>	<p>9月7日 (土) ～11月4日 (月・祝)</p>	<p>11月16日 (土) ～2020年1月13日 (日)</p>	<p>2020年4月25日 (土) ～6月21日 (日)</p>	<p>7月8日 (水) ～8月30日 (日)</p>	<p>9月11日 (金) ～11月3日 (火・祝)</p>	<p>11月14日 (土) ～2021年1月31日 (日)</p>
<p>こどもたちのデザインの思考を育むことをねらいにNHK Eテレで放送されている番組「デザインあ」のコンセプトを、実際の体験に発展させる。身のまわりに意識を向け(みる)、どのような問題があるかを探り出し(考える)、よりよい状況を生み出す(つくる)という一連の思考力と感性、すなわち「デザインマインド」を多彩な作品を通して体験してもらった。</p>	<p>「夕日・夕景」のモチーフに着目し、東西両洋の画家たちの表現を照会する。独特の光の移ろいや、情緒あるこの時刻の表情は、多くの画家たちの心を捉え続けてきた。19世紀から20世紀にかけての西洋と、その影響を受けながら独自の風景表現を生み出そうとした近代日本を中心に、多様な表現を紹介した。</p>	<p>「少女漫画の神様」とも称され、『ポーの一族』『11人がいる』『スター・レッド』などの傑作を生んだ萩尾望都。本展では、デビュー50周年を記念し、SF作品から選出したカラーイラスト原画や漫画原稿を展示します。当館としては初の漫画展となり、漫画を芸術の一分野として捉え直す新たな試みとなった。</p>	<p>国際交流基金所蔵の工芸作品は、20年近くかけて世界各国で展示された後、2016年度に当館へ寄託された。第1章では人間国宝6人を含む、現代日本を代表する工芸家の作品60点余りを展示する。また第2章では現在活躍する県ゆかりの工芸家の作品を厳選して紹介する。山梨の工芸技術や表現にフォーカスする、当館では初めての機会となった。</p>	<p>ユネスコ世界遺産にもなっている世界最大級の植物園が所蔵するボタニカルアートを紹介する。イギリス王室の繁栄と近代植物学の発展を背景として、美しい花々を描いた18世紀の優品を主に展示する。さらに、キューガーデンを支えたシャーロット王妃が愛したウェッジウッド社の陶磁器も合わせて紹介する。</p>	<p>独特な色彩感覚で知られる写真家、蜷川実花の様々な作品を紹介する。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事にも就任し、ますます注目される蜷川の世界を堪能できる機会となる。</p>	<p>ミレーらと共にリアリズム(写実主義)を代表する画家のギュスターヴ・クールベ。彼の風景画、とりわけ「海」を描いた作品を紹介する。また以前、同時代の画家たちの作品も展示することで、クールベ作品の特質を明らかにする。</p>	<p>両者は、日本はもちろん、国際的に活躍している現代アーティストで山梨出身。土を採集して展示する手法の栗田と、植物の彫刻でインスタレーションを展開する須田。日常の中にもうひとつの世界を開いてくれる二人の作品を紹介する。</p>
<p>デザイン あ 展</p>							
	<p>ジャン＝バティスト＝カミユー・コロウ《舟渡し、ドウエ近郊》島根県立美術館蔵</p>	<p>ポスター画像 ○萩尾望都/秋田書店 ○萩尾望都/小学館</p>	<p>松田百合子《注器、デミタス碗皿》1992年 国際交流基金蔵</p>	<p>シデナム・ティースト・エドワーズ《ポタン(ポタン科)》1809年</p>	<p>earthly flowers, heavenly colors (2017) ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery</p>	<p>ギュスターヴ・クールベ《海》1869年頃 ぶくやま美術館</p>	<p>(左) 栗田宏一《soil library》 (右) 須田悦弘《雑草》</p>



来館日 月 日	地域	校種	学年	対応	学校・団体	児童 生徒数	引率数	内容				解説	減免	備考(学習形態、体験内容など)
								ミシ ー 常設	特別	職場	実技			
10 25	県外	高			飛龍高校	71	6	○	○			○	自主	
10 16	県外	他			女子美術大学	16	7	○	○				自主	
10 30	その他	高			高文連茶道部	178						○	自作チケット	
10 31	北都	中	2		猿橋中学校	27	4	○	○			○	自主	
11 8	甲府	小		○	甲府東小特別支援学級	9	3	○			○	○	解説+創作	
11 8	甲府	高	3	○	甲斐清和高等学校	50	2	○				○	オリエンテーション	
11 12	甲府	小	3	○	池田小	83	3	○				○	解説+アートボックス	
11 13	北巨	小	5	○	白州小	16	3	○			○	○	解説+創作	
11 13	甲府	中	1	○	学院中学校	99	6	○			○	○	解説+みるえカード	
11 21	甲府	小	4	○	新田小	14	3	○				○	鑑賞+創作	
11 27	甲府	高			高文連美術工芸専門部	200	20	○	○			○	自主(自作チケット)	
11 27	甲府	小	3	○	新田小	23	3	○			○	○	鑑賞+創作	
11 28	甲府	小	5	○	新田小	26	3	○			○	○	鑑賞+創作	
11 28	甲府	高		○	甲斐清和高等学校	40	2	○	○			○	オリエンテーション	
12 4	北巨	他		○	峡北教育研究協議会図工美術部会		10	○	○				自主	
12 6	北巨	小	5	○	小淵沢小	45	3	○			○	○	鑑賞+みるえカード	
12 12	北巨	小	6	○	泉小	36	3	○			○	○	鑑賞+創作	
12 13	北巨	小	5	○	武川小	19	3	○			○	○	鑑賞+創作	
12 13	県外	他			多摩美術大学 油絵	28	4	○	○				自主見学	
12 13	甲府	小	1-2	○	新田小	26	3	○			○	○	鑑賞+創作	
12 19	甲府	小		○	わかば支援学校小学部	19	11	○				○	鑑賞+創作	
12 20	甲府	小	6	○	新田小	24	2					○	WS室にてギャラリートーク練習	
1 22	中巨	中		○	あけぼの支援学校中学部	4	2	○			○		鑑賞+創作	
1 29	甲府	小	6	○	新田小	24	3	○				○	ギャラリートークリハ	
1 29	甲府	小	5	○	新田小	26	3	○				○	ギャラリートークリハ見学	
1 29	甲府	小	4	○	新田小	14	3	○				○	ギャラリートークリハ見学	

教育課程における入館者数まとめ

◎平成30年4月1日～平成31年3月31日

	校数	生徒数
小学校	40	1,409
中学校	28	579
高校	19	1,586
その他	41	2,045
計	128	5,619

◎平成31年4月1日～令和2年1月31日

	校数	生徒数
小学校	30	900
中学校	55	1,275
高校	20	1,464
その他	32	1,182
計	137	4,821

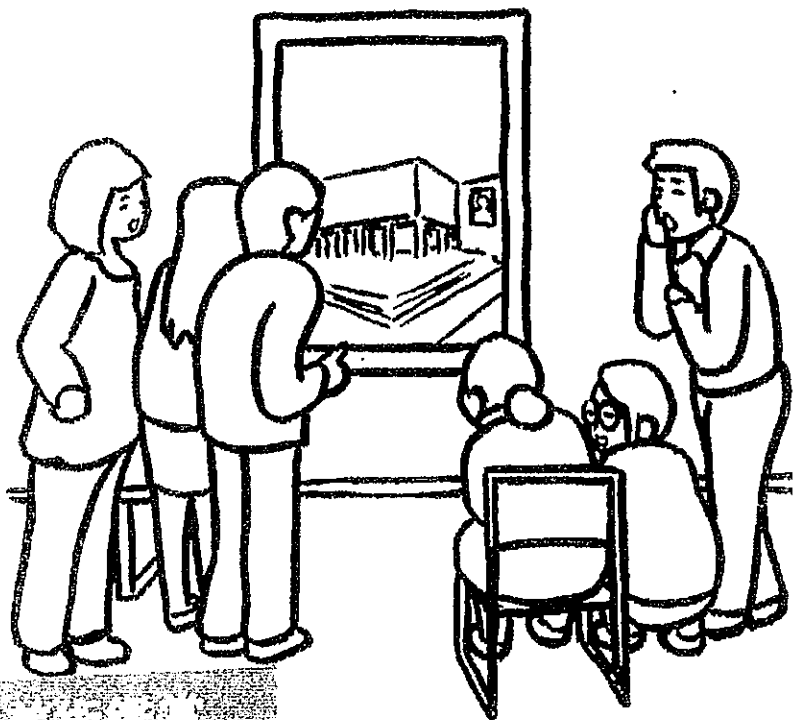
・平成31年4月1日～令和元年8月31日

	校数	生徒数
小学校	13	447
中学校	48	1,069
高校	14	817
その他	26	1,113
計	101	3,446

・令和元年9月1日～令和2年1月31日

	校数	生徒数
小学校	17	453
中学校	7	206
高校	6	647
その他	6	69
計	36	1,375

# こんな鑑賞は いかがですか？



## 認知症ケア美術鑑賞 ワークショップ

参加無料

認知症の方のケアにつながるワークショップです。当館の作品を見ながら、鑑賞をガイドするアートコンダクターが質問するスタイルで対話型鑑賞を進めます。アート鑑賞により、認知症の方の想像が膨らみ、過去が呼び覚まされ時空を超えた会話が弾みます。

開催日時 2020年1月8日(水) ①午前10:00~12:00 ②午後1:30~3:30

開催場所 本館2階ロビー(ミレー館入口) ■実施場所 コレクション展B(テーマ展示室)  
アートコンダクター 横山綾子氏、興石美和子氏 (実施協力:一般社団法人アーツアライヴ)  
参加対象 認知症の方とその家族はもちろん、どなたでも参加いただけます。

定員 参加者各回15名

申込方法 メールまたは電話・FAXにて次の情報をお知らせください。

①氏名②住所③年齢④電話連絡先(携帯電話など)⑤午前・午後の希望⑥当日同行する介助者の有無

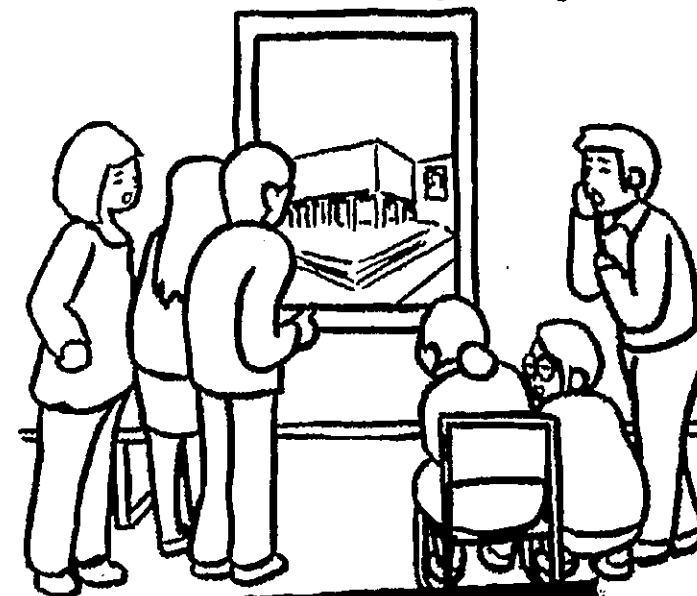
申込締切 2020年1月3日(金) ※定員に達した時点で締め切ります

問合せ・申込先 山梨県立美術館 学芸課教育普及

Tel: 055-228-3258 Fax: 055-228-3418  
e-mail: art-fukyuu@pref.yamanashi.lg.jp



# こんな鑑賞は いかがですか？



昨年の様子

## 認知症ケア美術鑑賞 ワークショップ

参加無料

認知症の方のケアにつながるワークショップです。当館の作品を見ながら、鑑賞をガイドするアートコンダクターが質問するスタイルで対話型鑑賞を進めます。アート鑑賞により、認知症の方の想像が膨らみ、懐かしい過去の思い出もよみがえる時空を超えた会話が弾みます。

■日時 2020年1月8日(水) ①午前10:00~12:00 ②午後1:30~3:30

■集合場所 本館2階ロビー(ミレー館入口) ■実施場所 コレクション展B(テーマ展示室)

■アートコンダクター 横山綾子氏、興石美和子氏 (実施協力:一般社団法人アーツアライヴ)

■参加対象 認知症の方とその家族はもちろん、どなたでも参加いただけます。

■定員 参加者各回15名

■申込方法 メールまたは電話・FAXにて次の情報をお知らせください。

①氏名②住所③年齢④電話連絡先(携帯電話など)⑤午前・午後の希望⑥当日同行する介助者の有無

■申込締切 2020年1月3日(金) ※定員に達した時点で締め切ります。

◆問合せ・申込先/ 山梨県立美術館 学芸課教育普及

Tel: 055-228-3258 Fax: 055-228-3418 e-mail: art-fukyuu@pref.yamanashi.lg.jp

令和2年度教育普及主な予定（仮）

4月	オープンアトリエ 映画会	
5月	造形広場 実技講座木版画（初心者） 実技講座木版画（経験者） 教師のための鑑賞研究会 映画会	
6月	造形広場 実技講座木版画（経験者） 映画会 オープンアトリエ	
7月	造形広場 映画会 オープンアトリエ	みなびWS みなび展 職場体験・インターンシップ
8月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 映画会 オープンアトリエ 手で見るとミレー（レリーフ版）お披露目 実技講座シルク（初心者）	みなびWS みなび展 職場体験・インターンシップ
9月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 映画会 実技講座シルク（経験者）	
10月	造形広場 オープンアトリエ 映画会 山梨県教職員初任者研修	
11月	造形広場 教師のための鑑賞研究会 実技講座日本画（初心者・経験者） 映画会	
12月	造形広場 実技講座日本画（初心者・経験者） 映画会	
1月	造形広場 実技講座油彩画（初心者・経験者） 映画会 新しい鑑賞ワークショップ（認知症）	
2月	造形広場 オープンアトリエ 映画会	
3月	造形広場 オープンアトリエ 映画会	

# 令和元年度 下半期美術館協議会

令和2年2月28日  
山梨県立美術館 指定管理者  
SPS・桔梗屋・KBS共同事業体

## 目次

- ▶ 1. 指定管理第3期（4年間）の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
  - ① 展覧会観覧誘致のための広報活動
  - ② 観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
  - ① 賑わいの創出による地域の活性化
- ▶ 4. 安心・安全な施設の維持管理
  - ① 安定した施設管理
- ▶ 5. 令和2年度上期に予定している活動

## 1. 指定管理第3期の運営方針

### 指定管理第3期（4年間）の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信  
観光資源としての魅力をアピール  
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる  
地元企業や団体等との強固な関係構築  
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化  
施設維持管理会社が共同事業体へ参画  
効果的・効率的で安定した施設管理

## 指定管理者活動トピックス

### 2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動

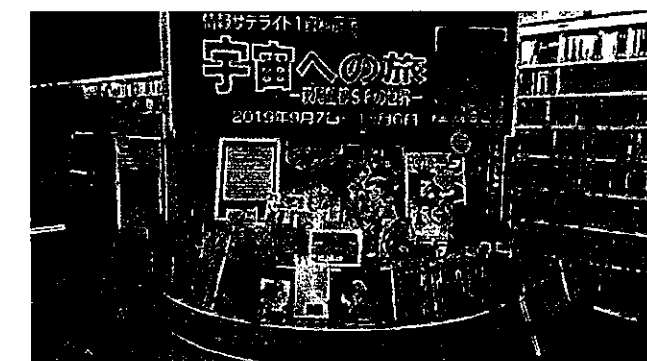
観覧者数 10,033人（予比66%）

#### 特別展「萩尾望都 SF原画展」（9月7日～11月4日）

上期に報告した通り、銀座松屋へのチラシ設置をはじめ、新聞告知、TVCMなどさまざまな方法で集客を試みたが観覧者数は約1万人にとどまった。ターゲットははずしておらず、女性客を中心に来館いただけたが、期間中台風19号の影響で「あずさ」（JR中央本線）が止まり、中央高速も不通となる期間が約半月続いたことの影響は大きく、県内への観光客自体が足止めされた形となり、来館者数は伸びなかった。



読売新聞 都内版広告10/26



県立図書館との連携

## 指定管理者活動トピックス

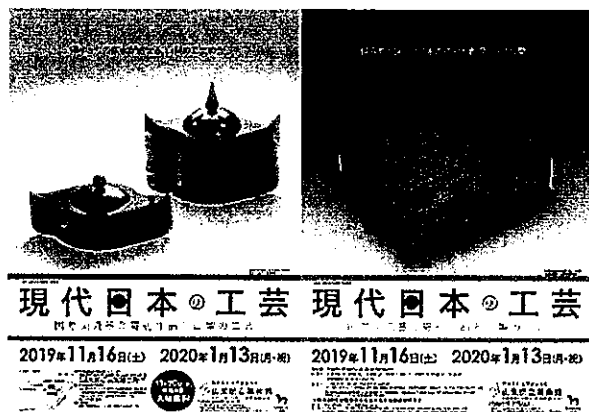
### 2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動

観覧者数 9,203人 (予比88%)

#### 特別展「現代日本の工芸」(2019年11月16日～2020年1月13日)

##### 特別展 記念コンサート開催(12月8日)

「現代日本の工芸展」ではターゲットに合わせたチラシ作成を検討・作成した。A3版を二つ折りにし、片面は国際交流基金寄託作品の画像、もう一方は山梨県ゆかりの作家の作品を打ち出したものを作成した。特別記念コンサートでは、展覧会と同様に伝統文化に触れる機会としたいと考え、山梨県神道雅楽会・穴切雅楽会にご出演いただいた。「雅楽」と「舞楽」を123名のお客様に楽しんでいただいた。

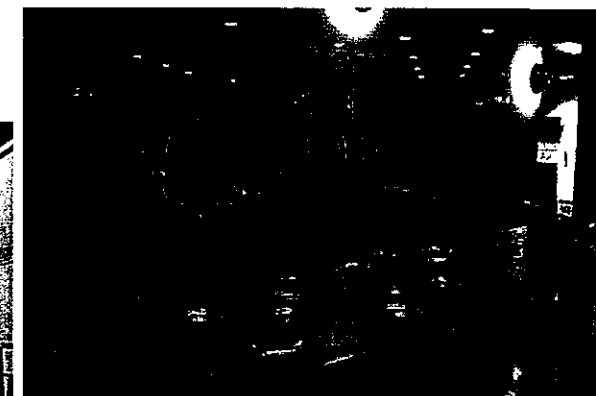
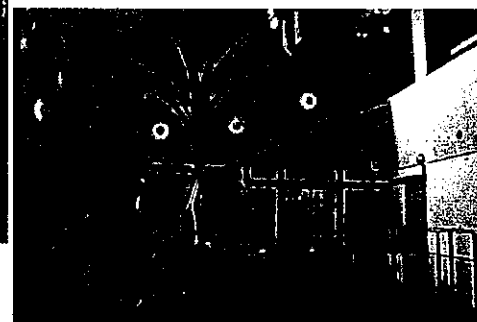


## 指定管理者活動トピックス

### 2-① 展覧会観覧者誘致のための広報活動

#### キュレーターズ・アイ「長谷川 創展」(2019年11月6日～2020年1月13日)

展覧会で写真を撮影できる機会は少ないが、キュレーターズ・アイの作家長谷川氏は積極的に撮影して構わないとのことだったため、フェイスブック用に撮影し投稿した。長谷川氏みずからツイッターやインスタグラムなどのSNSを活用されていることもあり、これらを使ってぜひ拡散してほしいというご要望を頂いた。毎週日曜日に来館されてお客様に「体感イベント」を実施されていたため、内容などご相談させていただきながら対応することができた。



## 指定管理者活動トピックス

### 2-② 観光資源としての魅力アピール

#### トリップアドバイザー

##### 「ロコミで人気！美術館・博物館ランキング2019」

世界最大級の旅行コミュニティサイトであるトリップアドバイザーの「ロコミで人気！美術館・博物館ランキング2019」で、日本全国第17位を獲得した。TOP20に入ったことでメダルの授与と表彰状をいただいた(右図)。

ロコミサイトへ寄せられた意見としては「気持ちのよい環境」や「ミレーをじっくり見れた」「庭園もおすすめ」などがあつた。お客様の生の声を反映したランキングだけにランクインしたことで今後の集客にも期待し、広報でも活用していく。

ロコミで人気!  
美術館・博物館 ランキング 2019

美術館 日本全国  
**TOP 20**  
山梨県立美術館

ロコミとランキングで見つかる旅の仲間  
トリップアドバイザー®に掲載されたロコミにもとづき  
上記の通り認定いたします。

ロコミトリップアドバイザー®  
しっかり調べて @ ぼっち予約 @ 週末の旅へ

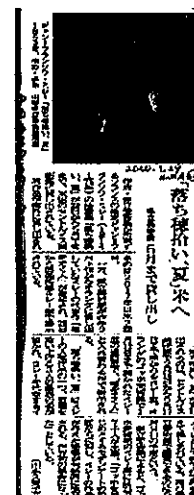


## 指定管理者活動トピックス

### 2-② 観光資源としての魅力アピール

#### ミレー《種をまく人》海外から返却される、《落ち穂拾い、夏》米国へ貸出

9月にオランダのゴッホ美術館へ貸し出したミレーの《種をまく人》が返却され、1月28日より展示を再開した。入れ替わって今度は《落ち穂拾い、夏》がアメリカのセントルイス美術館へ貸出となった。《種をまく人》が帰って来たタイミングで、改めて県内報道機関へリリースを配信し、山梨放送、山梨日日新聞、朝日新聞の取材を獲得。山梨県立美術館のミレー作品が海外へ貸し出された意義について、県民に広く共有することができた。



1/29 山梨日日新聞



1/30 朝日新聞

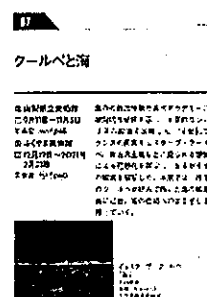


## 指定管理者活動トピックス

### 2-② 観光資源としての魅力アピール

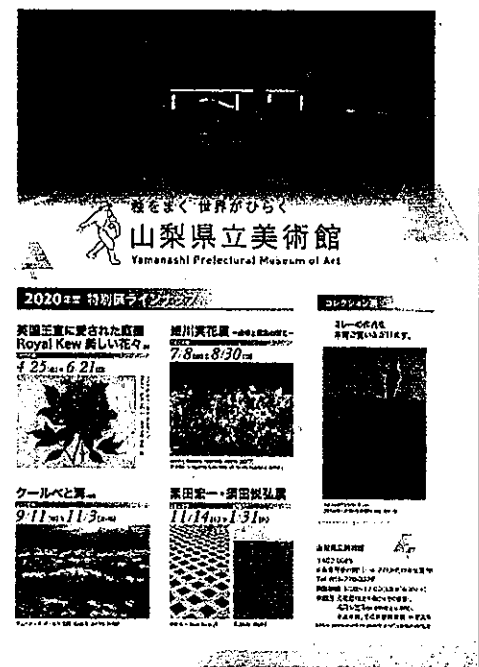
#### 雑誌「日経おとなのOFF」 令和2年度特別展紹介掲載

雑誌「日経おとなのOFF 絶対に見逃せない2020年美術展」に、今年度開催される特別展年間スケジュールを掲載した。また、広告を掲出することから直接編集部と交渉し、別冊「2020美術展100ハンドブック」に、特別展「クルーベと海」(2020年9~11月)の告知掲載を獲得。本誌は美術ファンの購読が多いため、今後の展示会の集客に期待したい。



2020年1月号(右)

別冊ハンドブック(左)



## 指定管理者活動トピックス

### 3-① 賑わいの創出による地域の活性化

#### 県民の日 イベント開催(11月20日)

県民の日は、お子様向けに「芸術の森茶会」「トレー/宮沢賢治 めりえコーナー」等を企画した。なかでも「射的ゲーム」「バルーンアートプレゼント」への参加は、美術館か文学館の展示室を回るスタンプラリーの達成を必須とし、展示室への誘導を図った。この日イベント参加者も含めると、延べ9,000人を越えるお客様が来場いただき秋の1日を楽しく過ごされた。



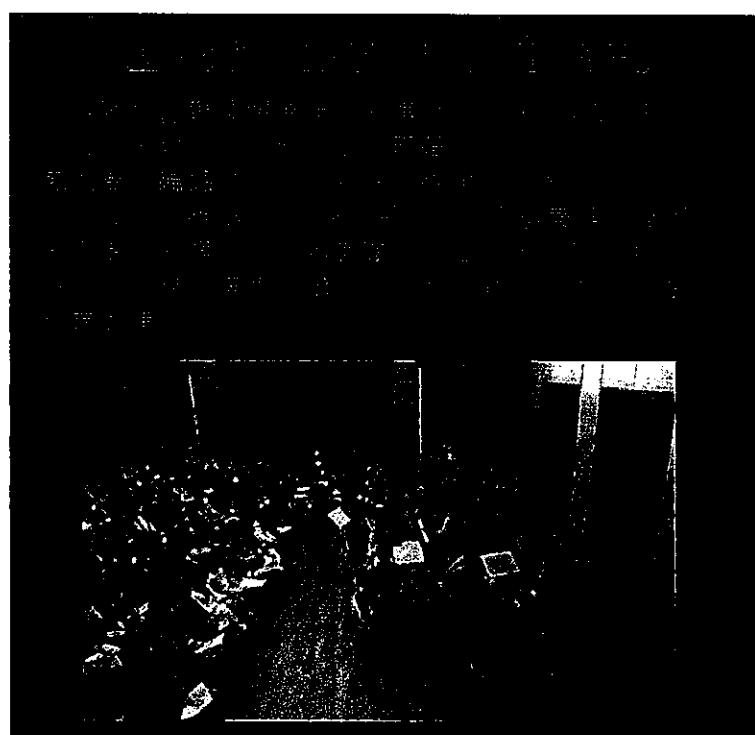
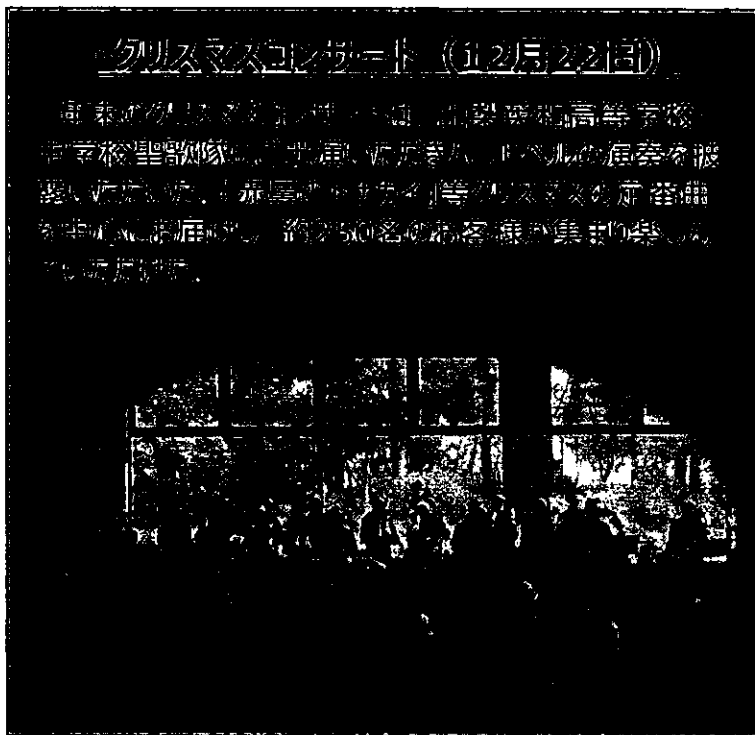
今年度クリスマスコンサートを開催した。県内の飲食店や雑貨店、体験型ワークショップなど約100店舗に出展いただき、会場が華やかで雰囲気も良かった。事前に県民の日開催のラッパタウン5丁目(島)で告知をした他、NHKでもワークショップの紹介をしていただいた効果もあり、2日間で約14,500人の来場者で賑わった。

## 指定管理者活動トピックス

### 3-② 賑わいの創出による地域の活性化

#### クリスマスコンサート(11月22日)

毎年恒例のクリスマスコンサートは、山梨県立高等学校音楽部聖歌隊が、北原の流奏を披露し、行方、山梨県立音楽院等クリスマス会を主催する中、昨年度は、約250名のお客様が集まり楽しむことができました。



## 指定管理者活動トピックス

### 3-1 賑わいの創出による地域の活性化

- ・「野外彫刻たんけんツアー2019 終了」(~11月24日)
- ・お正月イベント2020開催(1月2日)

・今年度の「たんけんツアー」はトータルで52回開催し、参加者は303名であった。アンケートの結果では80%以上の参加者にご満足いただけた。今年度初めて実施した「子どもツアー」は、3回実施し97名(うち子ども61名)の参加があった。特に県民の日の午前の部は定員20名のところ同伴の大人も含めて53名の参加があり、とても賑やかなツアーとなった。今年度の実績やアンケート結果は次年度の企画や広報に役立てていく。

・初の試みとしてお正月イベントを開催した。県の無形民俗文化財である「下市之瀬の獅子舞演舞」(1/2)を行い、250名の皆様に鑑賞いただいた。



野外彫刻たんけんツアー



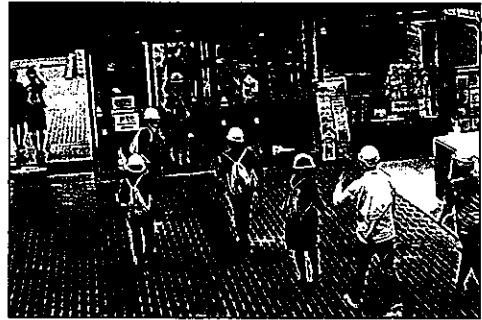
下市之瀬の獅子舞演舞(美術館1階ロビー)  
取材: NHK甲府 山梨毎日新聞

# 指定管理者活動トピックス

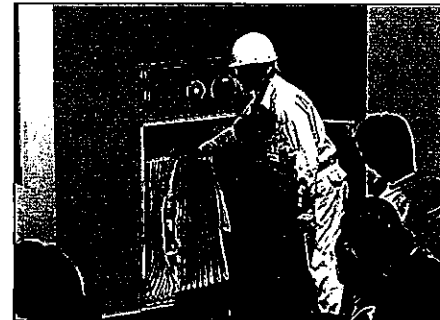
## 4-① 安定した維持管理

### 文学館・美術館 両館合同防災訓練の実施 (10月8日)

閉館後の時間を利用し、美術館・文学館の県職員、指定管理者の合同で震度6の地震が発生したことを想定した避難訓練を実施した。終了後は消火栓の仕組みや使用方法、消火器の使用等、初期消火活動に対する研修を行い、自館の防災設備と自衛行動について全体で確認し合った。次回の避難訓練の内容について、積極的な意見も挙がっており、今後、さまざまな角度から防災について考え、行動できるようにするための訓練を検討していく。



避難誘導するスタッフ



消火栓について設備担当から説明を受けている様子



# 指定管理者活動トピックス

## 4-① 安定した維持管理

### 台風19号対応 (10月11日、12日)

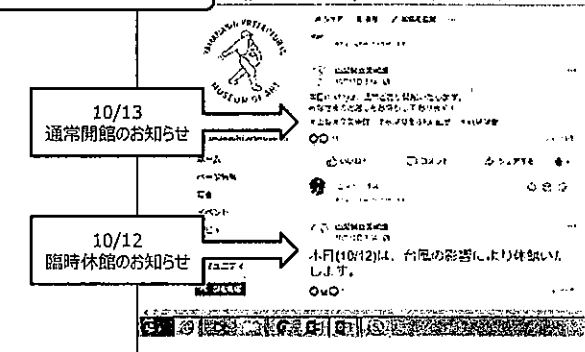
非常に強い大型台風19号が10/12に関東地方直撃の情報を受け、前日から敷地内を巡回し、のぼり旗や看板類、傘立てなど屋外にあるものを風雨の影響を受けない場所に避難させた。これら屋外のものは台風や大雪などの際に対応すべき内容のチェックリストを作成し、リストに沿って避難～復旧までを行った。今後、このチェックリストの内容をさらに充実させていく。

また、10/12は開館時間直前に臨時休館が決定。ホームページやフェイスブックへ休館のお知らせを掲載するとともに、両館の入口にも張り紙を貼るなど、可能な限りの手段を使って、休館告知を行った。館内外ともに、この台風による大きな被害はなかった。

### 台風対応一覧 (チェックリスト)

項目	実施状況	担当者	備考
1	巡回	山梨県立美術館	巡回完了
2	巡回	山梨県立文学館	巡回完了
3	巡回	山梨県立美術館	巡回完了
4	巡回	山梨県立文学館	巡回完了
5	巡回	山梨県立美術館	巡回完了
6	巡回	山梨県立文学館	巡回完了
7	巡回	山梨県立美術館	巡回完了
8	巡回	山梨県立文学館	巡回完了
9	巡回	山梨県立美術館	巡回完了
10	巡回	山梨県立文学館	巡回完了

### Facebook



# 指定管理者活動トピックス

## 5 令和2年度に予定している活動

### 広報・自主事業

- ▶ 旅行誌「るるぶ山梨」広告掲載
- ▶ ファミリーコンサート (3/月)
- ▶ アフターヌーン・ティ (レストラン)
- ▶ バラの花プレゼント (6月)
- ▶ セタワークショップ (7月)
- ▶ かぞくでアートタイム
- ▶ 野外彫刻探検ツアー



イメージ画像

終わり